

レジメン名 (治療名)					
FOLFIRI + AFL					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
大腸癌	FOLFIRI + AFL	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	アフリベルセプト【AFL】	4mg/kg	点滴静注	60分	Day1
2	イリノテカン【CPT11】	150mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	90分	Day1
3	レボホリナート【l-LV】	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間	Day1
4	フルオロウラシル【5FU】	400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	12分	Day1
5	フルオロウラシル【5FU】	2400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	46時間	Day1-2
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		2-3週間			
総コース数及び総投与量の限界		PDまで			
プレメディケーション ポストメディケーション		5HT3拮抗薬、デキサメタゾン、アプレピタント			
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリベルセプト投与中の infusion reaction 発現時の対応            Grade1or2→アフリベルセプトの投与速度を50%減速            Grade3or4→アフリベルセプトの投与を直ちに中止</li> <li>・(6)はHOME POMP C-SERIES C100020を使用。</li> <li>投与時間が56時間を超える場合は、自己抜針を行って良い。</li> </ul>			

≪投与順≫

(1) 生理食塩液	50mL	
デキサメタゾン 8mg	2V	
オンダンセトロン 4mg	1A	30分
(2) 生理食塩液	250mL	
アフリベルセプト	4 mg/kg	1時間
(3) 5%ブドウ糖液	500mL	
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	90分
(4) ソルデム 3A	500mL	
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	2時間
* (2)、(3) は同時に投与を始める		
(5) 生理食塩液	50mL	5分
(6) フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	
*フルオロウラシル 2250mg 以下 → 生理食塩液 100mL		
フルオロウラシル 2250mg を超える → 生理食塩液 50mL		
生理食塩液と合わせて	全量 95mL	46時間
(7) 生食ロック		10mL

制吐療法

アプレピタントカプセル 125mg	1Cap 分 1	1日分
アプレピタントカプセル 80mg	1Cap 分 1	2日分

早発性の下痢、鼻汁等のコリン作動性の副作用が現れた際

ブチルスコポラミン 20mg 1A 追加